

シーリング剤を枝に塗って クワシロカイガラムシの防除時期を判断

松本英治、多田寿和子、豊嶋貴司

1 オリーブにクワシロカイガラムシが発生して枝や果実を加害します



3 白いシーリング剤（左下の写真）をカイガラムシが発生している枝に塗布すると、歩行してきた幼虫がオレンジや茶色の点々となって付着して捕獲できますので、数えることもできます



2 雌成虫が殻の下で産卵し、孵化した幼虫は半日ほど歩行後に殻で覆われ始め、農薬がかかり難くなりますので、幼虫がたくさん歩行しているわずかな期間が農薬散布の適期ですが、幼虫の大きさは0.2~0.3mmの楕円形で発見は困難です



供試した
アクリル系シーリング剤

4 乾きの遅いアクリル系シーリング剤でしたら、3日程度の間隔で幼虫の捕獲数のカウントと塗布を繰り返せば、1日当たり捕獲数が最多になる日（孵化最盛日）がわかりますので、その日から5日後までが農薬散布の適期です

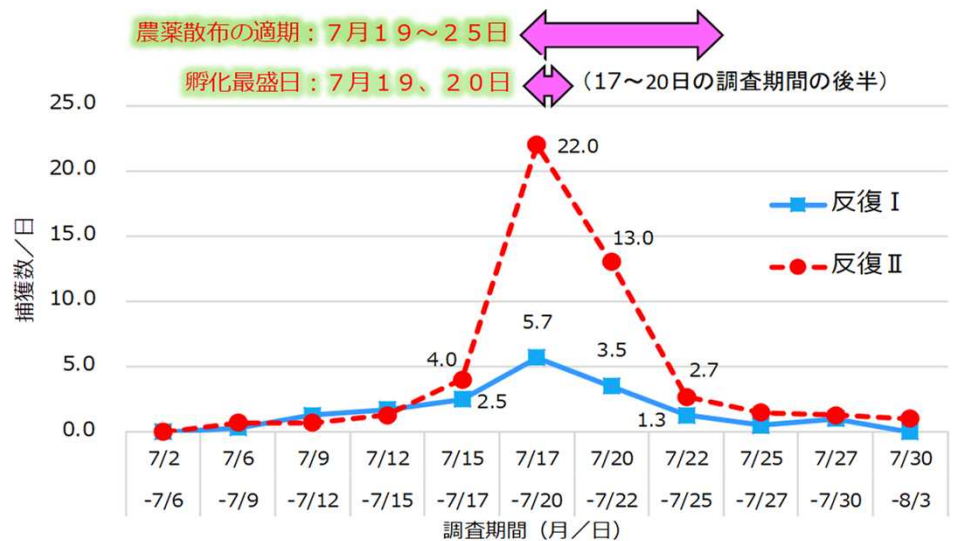


図 アクリル系シーリング剤でのクワシロカイガラムシ幼虫の捕獲数の推移
シーリング剤は約3cm×0.5~1.0cm（枝の片面）×厚さ3~5mmで3か所にし、これを2枝に施して反復Iと反復IIを設置した